

専門分野Ⅱ

科目名	成人看護学実習Ⅱ			担当者	澤田 律子		
履修学年	3年次	単位数	2単位	時間数	90時間	実務経験の有無	有
科目目的	成人期にある対象の特性を理解し、科学的根拠に基づくアセスメントを行う。疾病、健康問題に応じた生活支援のための看護ケアを行う看護過程を展開する能力を身につける。保健医療チームについて目を向けることができる。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象者を尊重した人間関係を構築することができる。</li> <li>2. 疾病、健康問題に応じた生活支援のための看護ケアを実践することができる。</li> <li>3. 成人・老年期にある対象の特性を理解し、科学的根拠に基づくアセスメントを行う。疾病、健康問題に応じた生活支援のための看護ケアを行う看護過程を展開することができる。</li> <li>4. 保健医療福祉チームの一員としての連携と調整の必要性を考えることができる。</li> <li>5. 看護専門職業人として自らの仕事に価値を見出し、看護の役割・責務を自覚し、ふさわしい行動をすることができる。</li> </ol>						

授業計画

回	時間	授業内容
1	7	臨地実習 * 詳しくは実習要項参照
2	7	臨地実習
3	7	臨地実習
4	7	臨地実習
5	7	臨地実習
6	7	臨地実習
7	7	学内実習
8	7	臨地実習
9	7	臨地実習
10	7	臨地実習
11	7	臨地実習
12	7	臨地実習
13	7	学内実習

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。  
澤田律子：8年間病院にて看護師として勤務

専門分野Ⅱ

科目名	成人看護学実習Ⅲ			担当者	澤田 律子		
履修学年	3年次	単位数	2単位	時間数	90時間	実務経験の有無	有
科目目的	成人期にある健康危機状況にある対象を理解し、機能回復および社会復帰に向けての看護が実践できる能力を身につける。 保健医療チームについて学ぶ。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象者を尊重した人間関係を構築することができる。</li> <li>2. 機能回復および社会復帰に向けての看護を実践することができる。</li> <li>3. 成人・老年期の健康危機にある対象を理解し、機能回復及び社会復帰に向けての看護過程を展開することができる。</li> <li>4. 保健医療福祉チームの一員としての連携と調整の必要性を考えながら行動することができる。</li> <li>5. 看護専門職業人として自らの仕事に価値を見出し、看護の役割・責務を自覚し、ふさわしい行動をすることができる。</li> </ol>						

授業計画

回	時間	授業内容
1	7	臨地実習 * 詳しくは実習要項参照
2	7	臨地実習
3	7	臨地実習
4	7	臨地実習
5	7	臨地実習
6	7	臨地実習
7	7	学内実習
8	7	臨地実習
9	7	臨地実習
10	7	臨地実習
11	7	臨地実習
12	7	臨地実習
13	6	学内実習

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。  
澤田律子: 8年間病院にて看護師として勤務

専門分野Ⅱ

科目名	老年看護学実習Ⅱ			担当者	古澤 美智子		
履修学年	3年次	単位数	2単位	時間数	90時間	実務経験の有無	有
科目目的	<p>老年期にある対象の疾病が生活に及ぼす影響を把握し、社会復帰に向けて満足できる生活を目指す家族を含めた看護が実践できる能力を身につける。 保健医療福祉チームについて学ぶ。</p>						
到達目標	<p>1.高齢者とその家族に関心を寄せ関わるができる。 2.入院生活によって支障をきたしている高齢者の個別性を踏まえた日常生活援助が実践できる。 3.老年期にある対象の疾病が生活に及ぼす影響を把握し、社会復帰に向けて満足できる生活を目指す家族を含めた看護が展開できる。 4.健康障害のある高齢者および家族への看護の継続性、関係職種との連携の重要性を考えることができる。 5.高齢者とその家族への関りから、老年観を深め自己の看護について振り返ることができる。</p>						

授業計画

回	時間	授業内容
1	7	臨地実習 * 詳しくは実習要項参照
2	7	臨地実習
3	7	臨地実習
4	7	臨地実習
5	7	臨地実習
6	7	臨地実習
7	7	学内実習
8	7	臨地実習
9	7	臨地実習
10	7	臨地実習
11	7	臨地実習
12	7	臨地実習
13	6	学内実習

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。  
古澤美智子: 16年間病院にて看護師として勤務

専門分野Ⅱ

科目名	小児看護学実習Ⅱ			担当者	小貫 三佳		
履修学年	3年次	単位数	1単位	時間数	45時間	実務経験の有無	有
科目目的	子どもの人権を尊重し、小児看護学で学んだ知識、技術を健康障害をもつ子どもとその家族に対して実践し、基礎的能力を身につける。						
到達目標	<p>1.対象の成長発達段階・健康状態に応じたコミュニケーションを図れ、家族を含めた関わりをすることができる。</p> <p>2. 対象の成長発達段階・健康状態に応じた日常生活の援助を実践することができる。</p> <p>3. 健康障害をもつ子どもとその家族の状況を把握し、成長発達を踏まえた安全・安楽な看護を明確化することができる。</p> <p>4. 子どもと家族の健康と生活に関わる小児看護の役割を理解し、関係職種との連携と協働を考慮することができる。</p> <p>5. 対象者の成長発達を促す援助の必要性和子どもと家族の最善の利益を保証できる関わりを考えた行動をすることができる。</p>						

授業計画

回	時間	授業内容
1	7	臨地実習 * 詳しくは実習要項参照
2	7	臨地実習
3	7	臨地実習
4	7	臨地実習
5	7	臨地実習 小児外来
6	7	臨地実習 小児外来
7	3	学内実習

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。  
小貫三佳:7年間病院にて看護師として勤務

専門分野Ⅱ

科目名	母性看護学実習			担当者	戸崎 由美子		
履修学年	3年次	単位数	2単位	時間数	90時間	実務経験の有無	有
科目目的	母性の対象および新生児とその家族を理解し、周産期の対象にウエルネスの視点から、健康維持増進のための看護を実践できる基礎的能力を身につける。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母子関係、家族のサポートの重要性を理解して、対象と関わることができる。</li> <li>2. 妊娠期・分娩期・産褥期にある対象の健康保持・増進のための看護を実践することができる。</li> <li>3. 分娩・産褥の経過の理解とウエルネスの視点から健康回復に必要な看護を展開することができる。</li> <li>4. 母子看護に関わる保健医療福祉チームの中での看護師の役割を考えることができる。</li> <li>5. 生命の尊さがわかり、自己の親性観(母性・父性)を深めることができる。</li> </ol>						

授業計画

回	時間	授業内容
1	7	臨地実習 * 詳しくは実習要項参照
2	7	臨地実習
3	7	臨地実習
4	7	臨地実習
5	7	臨地実習
6	7	臨地実習
7	7	臨地実習
8	7	臨地実習
9	7	臨地実習
10	7	学内実習
11	7	学内実習
12	7	学内実習
13	6	学内実習

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。  
戸崎由美子:10年間病院にて助産師として勤務

専門分野Ⅱ

科目名	精神看護学実習			担当者	寺門 由絵		
履修学年	3年次	単位数	2単位	時間数	90時間	実務経験の有無	有
科目目的	精神に障害をもつ対象を理解し、精神の健康を回復するための援助ができる。実習の経験をとおして自己洞察できる能力を身につける。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神に障害をもつ人と共に行動し、良好な治療的関係を構築することができる。</li> <li>2. 患者のセルフケア能力に応じた日常生活行動への援助ができる。</li> <li>3. 良好な治療的関係を構築し、セルフケアニーズに基づく看護を実践することができる。</li> <li>4. 精神保健医療福祉サービスの役割や援助の実際・連携を知ることができる。精神に障害をもつ対象が地域で生活していくために必要な支援と課題を考えることができる。</li> <li>5. 精神に障害をもつ対象の人権保護の重要性を考えた行動をすることができる。</li> </ol>						

授業計画

回	時間	授業内容
1	7	臨地実習 * 詳しくは実習要項参照
2	7	臨地実習
3	7	臨地実習
4	7	臨地実習
5	7	臨地実習
6	7	臨地実習
7	7	学内実習
8	7	臨地実習
9	7	臨地実習
10	7	臨地実習
11	7	臨地実習
12	7	臨地実習 デイケア・共同作業所
13	6	学内実習

その他 この科目は、実務経験のある教員による科目である。  
寺門由絵:6年間病院にて看護師として勤務